

宮津市公共施設再編方針書（案）個別説明会での質疑応答一覧

説明対象	開催日	質 問	回 答
宮津市文化団体協議会	6/30	宮津会館には、スタインウェイの何千万ものグランドピアノがあり、宮津は文化都市だと思う。私は宮津会館の柿落として、宮津小学校からピアノを持ってきて弾いた。こんなピアノはこの辺りには無く、文化会館にあるのはヤマハのピアノで音も悪い。私は宮津市民では無いが、舞鶴、綾部、福知山、京丹後、豊岡にあるが、こんなコンサートグランドは数える程しかない。財政のこととか色々あるが、宮津市ももう少しがんばってもらいたい。	50年以上も使われた立派はホールで、本当は市としても、残せるなら残して行きたいが、古くなって建物自体の寿命もある。ここが無くなったからあっちに行けと聞こえたなら申し訳無いが、宮津市の財政は市民の税金によって成り立っているのです、今後若者に借金がずっと残って行くことになる。そうならないために、しっかりと財政運営を市がしていけないといけない中、民間も活用しながら、何とかできたらと、ご理解というか市として方針を定めさせていただいたものです。
		宮津会館を残すというか、このようなホールを市のどっかに置いてもらいたい。	がんばらないといけないが、宮津会館が数字を含めて寿命といわれる中、なんとか方策を考えると、細い糸かもしれないが、この場所はすごく環境が良いと考えており、その価値を認めてもらえるところはないのか、コンサルには可能性はあると聞いている。やってみないとわからないが、危険なものをそのまま置いて置けないとの思いの中で休止そして、無理なお願いをしている。その中で、市の中でもホールを無くす選択肢もあったが、市として残す方法が無いのかなというのがサウンディング調査、民間の活用だった。市も何とかしたいと思いはあるが、財政状況が悪い中、次の手段を考えているとご理解をいただきたいと思っている。
		島崎エリアの活性化計画によるサウンディング調査はどんなことをするのか、さらっと書かずに全市民にわかるように示してもらいたい。	本編の22Pにサウンディング調査の概要を記載している。民間の資金を活用して、建て直しなどするもので、その資金・運営をしてもらえる企業を探すのがサウンディング調査です。
		譲渡・除却とあるが、除却と何か、撤去ということか、もっと市民に分かりやすい言葉で書いてもらいたい。	除却は、建替えの場合や、一旦取り壊しなどの除却です。

宮津市公共施設再編方針書（案）個別説明会での質疑応答一覧

説明対象	開催日	質 問	回 答
宮津市文化団体協議会	6/30	フェーズ1は5年の間に検討だが、宮津会館だけはR2年度末で休止と明文化させている。少なくともサウンディング調査をやり活用方法を検討とあるが、こんなコロナで民間もバタバタしているときに民間で島崎エリアをといても、ほとんど使えないような施設ばかりある中で、そんな可能性はあるのか。そして、市民の意見を聞いて9月には議会で決定してしまう。休止ありきではないか。せっかくサウンディング調査を行うといっているが、それまでにサウンディング調査が終わるのか。	9月までにはサウンディング調査は結論は出ない。休止とは別と考えており、休止は安心・安全のためで、使用中に地震が起こって怪我をされることはあってはならない。そのため、なるべく早く休止したいが、今年度末までは継続使用していただき、3月末までと考えている。 それと並行して、サウンディング調査は行っていくが、調査から決定までは資金調達などもあり、かなり時間がかかると考えている。
		怪我の心配と言われるが、耐震性なら市役所も問題があり、他にもあると思うが、特に市役所は災害時の拠点となる。その中でなぜ宮津会館だけが、その具体的な説明が無いと理解できない。	データの的には危険といえる。宮津会館はIs値最小0.23で、0.6以上が基準なので、0.3を下回ると危険が高いため、数値的には危険な施設で、加えて吊天井の落下の危険性も有り、非常な状況にあると市としては判断している。市役所についても非常に数値が悪く直さないといけないが、お金というかやれる分が決まってくるので、宮津会館は一旦休止としサウンディング調査をさせていただきたいということです。
		サウンディング調査は、いつ終わるのか。	民間企業とお見合いみたいなものになるので、早く手を上げていただける企業があれば早く見つかるし、それが無ければ時間がかかってくるので、いつ終わるとの明言は今のところできない状況です。
日置地区住民	7/22	様々な施設が再編の対象になっているが、日置地区には、診療所、保育所があり、特に診療所は日置地区の住民にとって、生命、健康に関わる重要な施設で、高齢者が多くいる中、なくてはならない施設である。どうしてこのような施設が、再編方針の対象になっているのか。	今回の再編方針は、施設全体の方針を定めるものであり、診療所など、生活に密着に関わるものも含め、すべての施設を対象にしています。

宮津市公共施設再編方針書（案）個別説明会での質疑応答一覧

説明対象	開催日	質 問	回 答
日置地区住民	7/22	日置診療所の他に府中診療所があるが、そこは駐車場が小さく、また、待合所も狭い、市は、このような実情を踏まえて検討しているのか。	駐車場等の問題や、万が一廃止になったときのこの地域の医療については現在検討しております。また、担当部局が地域と協議させていただいていますが、石井先生のご意向もしっかりと踏まえながら、今後、この地域の医療のあり方、診療所のあり方についてしっかりと皆さんと相談させていただきたいと考えています。
		公共施設の全体的な再編方針は良いが、特に、この地区の施設に関して、具体的な個別方針を示してほしい。	本日は、公共施設全体の説明会であり、個別のことについては、今後、担当部局が説明に参りたいと考えています。
		人口減少対策として、他市の状況はどのようになり、また、宮津市はどのような対策をしているのか。	人口減少対策などとして、5年前から地方創生事業に取り込んでいるところ、全国的に東京一極が止まらず、宮津市も毎年200人ほど減少している。市として反省すべきところはあるが、若い世代の働く場が少なく、特に若年層の減少が止まらないのが現状です。
		施設の数減らさなければならないのかもしれないが、新たな施設を作り、人材を確保する等、人口減少対策を行ってはどうか。	宮津市の持続のためには、以前に財政再建で市長が説明したと思うが、財政再生団体になると、鉛筆一本の購入から国の許可が必要となり地方自治が無くなるような財政統制が行われる、それだけは何としても阻止しないといけないとの思いで、財政再建に取り組んでいる。今回の公共施設の再編もその一環でしっかりと進めないと厳しい。現在、自由に使える基金が1億円以下になっているところ、クリーンセンターの建設による負担増、また、今後、市民生活に密着に関わる火葬場、し尿処理場の更新をしていかなければならない状況にあることをご理解いただきたい。

宮津市公共施設再編方針書（案）個別説明会での質疑応答一覧

説明対象	開催日	質 問	回 答
日置地区住民	7/22	地域の良いものを守り、若者がリターンできるようにしてほしい。	子供達は市の財産、子育てや教育に力を費やして行きたい。また、宮津の良さを知ってもらう教科は大切であり、教育の柱としてやっている。今後ともしっかりと進めて行きたい。
		今回、施設全体を説明されたが、今回、集まった方々は、個別施設の方針について関心をもたれている。特に、診療所は、高齢者が多い地域では必要な施設で、保育所も同様に必要な施設と考える。市街地と橋北とでは現状が異なることを考慮し、市の責任で対応してほしい。	本日は、施設全体の説明だが、診療所の問題は担当部局から地域との話し合いの状況を聞いている。診療所は老朽化だけでなく、運営いただいている先生のご意向もある中、この地域の医療をどうしていくんだということについて皆さんとしっかりと議論しながら、また早急にその方向性も決めて行く必要がある。現段階では、どうするとは言えないが、担当部局でしっかり検討している。
		最近、結婚し、子供が産まれたら、この地域で育てたいと思っている中、近くの保育所が廃止されたら困るので、ぜひ存続させてほしい。また、子供の数が少ないのであれば、現在の子供の入所制限を下げてはどうか。	現時点で保育所を潰すのではなく、今後の子供の数によってご相談させていただくということ。公立保育所でも0歳児からのご意見もいただきましたが、宮津市の財政状況は生半可なものでは無く最悪な状況、大きな災害が起きれば、財政再生団体になってしまう、ぎりぎりの状況で綱渡り状況であることはご理解いただきたい。
		日置診療所は、10年程に前にも廃止されるかもしれないと聞いたことがあり、市と先生に存続をお願いした。今は、先生の好意で存続されていると思うが、市としては、10年前から診療所を廃止しようとしていたのではないかと。生命を守ること、人を育てることは最も大切なことなので、地域住民の声をきいてほしい。	しっかりと皆さんと協議をしながら解決策を模索して行きたい。今、具体的に廃止するとか言うつもりは無いが、地域医療のあり方などを含めて全体的に考えていく必要がある。ただ、別の先生にお願いするのなら、その先生に来ていただけるのか、経営として成り立つのか、そういったこともしっかりと考えていかないと持続はできないと考えている。
		今回の再編方針書（案）は、9月に正式に決定したいとのことですが、地域住民の合意なしには進めることは無いということを確認させてもらいたい。	再編方針書は、公共施設の全体的な方針を定めるもので、個別施設は、担当部局からしっかりと説明し、コンセンサスというか、皆さんの全員の同意ということではなく、しっかりと理解をさせていただいて進めて行きたいと考えている。

宮津市公共施設再編方針書（案）個別説明会での質疑応答一覧

説明対象	開催日	質 問	回 答
日置地区住民	7/22	説明資料10Pの中に、「市は行政で担うサービスに集中する」とありますが、このサービスとは具体的に何を指しますか。	主に、福祉、教育、ゴミ処理などの市民生活と密着に関わるものになります。
		以前から市の財政状況が悪いと聞いているが、その原因を作った市が今回の公共施設再編方針書を作成して、果たして、大丈夫なのでしょうか。宮津市としてのやり方をしっかりと示してもらった上、地域住民と話し合い、連携しながら、進めていってほしい。	本日の説明会は、再編方針書（案）の説明会として、申し込みがあって来させてもらっている。公共施設全体の現状、財政状況を知っていただいた上で、市の財政を何とかしていくために、全国的な動きがある中、公共施設を再編していくというもの。その作成には、有限責任監査法人トーマツに支援いただき、個別施設ごとに各部局にヒアリングしながら作り上げたもの。 今後も皆さんとは、しっかりと意見交換しながら進めていきたいと考えています。
		今回は、特に診療所と保育所の再編方針に関心があって参加し、もっと具体的な話が聞きたかったので、説明内容に違和感を感じます。財政状況が悪いのは分かりますが、地域医療が崩壊しかねない現状を心配しています。日置診療所はフェーズ1で、概ね5年以内に再編実施になっており、このような中、9月に再編方針書を策定するとのことですが、それまでに、診療所のあり方がどうなるのか、個別に地区で話をしてもらう機会を設けてもらうことはできますか。	診療所については、これまでから担当部長が地域に入って協議させていただいている。その中で、橋北、この地域の医療体制については、先程のご意見等も踏まえて、しっかりと検討させていただきたい。ただ、方針書はあくまでも方針であり、個別個別で皆さんと相談しながら方針決定していくのが基本で、心配されている保育所についても、別途ご議論させていただくこととなります。

宮津市公共施設再編方針書（案）個別説明会での質疑応答一覧

説明対象	開催日	質 問	回 答
世屋地区住民	7/27	全体的な公共施設の再編とあるが、市の施策として、子育て世代等の移住を進める中、身近な保育所を再編施設の対象にすることは、施策に反することになるが、そうしたデメリットを考慮して、方針書（案）を作成したのか。	単に、子育て施設を除却するとなると、マイナス効果があるかもしれませんが、全体的に検討しなければいけないと考えています。例えば保育所でしたら、子供の数が減ってきているところですが、民間の保育所が継続的に運営していくのに一定の子供の数も必要で、公的な保育所が民間の経営を圧迫してしまうことも懸念されます。また、全体的に言いますと、宮津市の財政状況が厳しいということもあり、出来る限りの方策として、再編方針案を提示させていただいております。当然ながら、今後、個別の施設再編については、地域住民や関係の方と丁寧に協議させていただきますが、今回の再編方針書は、全体的な施設のバランスを考慮して作成した案となります。
		財政難や施設稼働率の低さに基づいて公共施設を削減していくと、負のスパイラルによりどんどん削減され、更なる人口減少に陥らないか。また、しおぎり荘は指定管理による運営になり、順調にお客さんがついてきた中、何故、今年度末をもって指定管理が廃止されるのか。	地域活性化については、当然ながらしっかりと取り組まなければならないと、今年度策定予定の宮津市総合計画において、地域ごとの一定の方向性を定めていくべく、皆さんと議論させていただきたいと考えています。世屋地区に関しては、自然豊かで、ポテンシャルの高い地区だと認識しています。地域の方の想いもありますし、こういった力でこの地域を活性化させていくのか、議論させていただかなければならないと考えています。指定管理については、同じく府中のユースホステルを指定管理から外し、無償貸付にしました。今後、しおぎり荘も指定管理から外し、民間活力の導入や国からの補助制度なども視野に入れ、しおぎり荘の改修ができないか検討しております。今後、地域住民と協議をしながら、そのあり方を検討していきたいと考えています。

宮津市公共施設再編方針書（案）個別説明会での質疑応答一覧

説明対象	開催日	質 問	回 答
世屋地区住民	7/27	世屋地区の方も利用している日置診療所の再編方針は、譲渡・除却になっている。医療は、行政が行う必要なサービスであることを念頭に、診療所を存続させる必要があるのではないか。	現在、医師一人で府中診療所と日置診療所に携われている中、今後、日置診療所のあり方、あるいは北部地域の医療につきましては、しっかりと検討させていただき、地域の方々にもいろいろ相談させていただきながら、進めていきたいと考えています。
		財政面で、宮津エネルギー研究所の撤退により、市税が大幅に落ち込んでいるが、今後、市税アップに繋がるような活用方針はあるのか。	関西電力に対しては、当然ながら再稼動について要求していますが、ただ、また具体的な活用方針は定まっていませんので、関西電力とは、協議を継続しています。
		一人の医師が府中と日置の診療所を掛け持ちするのは大変であることは以前から話題になっていたが、市はそうした状況を知りながら、医師に頼りきっていた。他の市町では、他の病院から医師を呼び寄せているケースもあり、市も医師の厚意に頼るだけでなく、必要な行政サービスとして、しっかり取り組んでもらい、診療所を存続させてもらいたい。	ご要望は、十分に受け止めさせていただきます。
		保育所のことですが、民間に集約するということは、結局、府中保育所など他の保育所に集約する計画が既にあるということですが。	日置地区につきましては、確か、まだ20数名のお子さんがいます。現在、話をさせていただいているのは、お子さんが10名程度の保育所です。地域と話をさせていただいているということです。

宮津市公共施設再編方針書（案）個別説明会での質疑応答一覧

説明対象	開催日	質 問	回 答
世屋地区住民	7/27	日置小学校区は子供の数が増えており、今後もしかすると移住者が増えるかもしれない中、日置保育所は、フェーズ2の譲渡・用途転用になっているが、フェーズ2に設定する理由はどういったものか。	市全体として人口が減ってきて、その中で新しい人が定住して増える可能性はもちろんあると考えます。そういう状況で、フェーズ2ということで、5年以降に検討していくということでございます。今の段階で廃止するといった方針ではなく、今後の状況を見定めながら、判断するといったものです。また、個別施設の再編については、別途、担当部局が地域住民と協議をして進めることになります。
		目標フェーズの捉え方を教えてください。	目標フェーズは、1から3まであり、1は5年以内の実施を目標、2は5年超から10年以内、3は10年超といった、実施時期を示すものとなります。また、学校、市営住宅、公園については、別途、個別に再編方針を定めていくことになります。
		5年後以降に対応していくのであれば、現段階でなにもフェーズ2に設定せずとも、現状維持で良いのではないか。	公共施設の再編は、全ての建物を対象にしており、その中でフェーズ1から3までの方向性を出さなければならないことをご理解いただきたい。また、現在の子供の数、状況を踏まえて、今後の状況を見定めるということで、フェーズ2の整理ということで挙げさせていただいております。
		宮津市全体として、保育所の数を減らさなければならないのかもしれないが、日置、世屋で子供が増えているのに、日置保育所が目標フェーズに挙がっていることは理解できない。	個別の施設については、今後、担当部局から話をさせていただきますが、市全体として、民間保育所も含めて再編していかなければならないということで、今後、子供の状況も含めて、どうなっていくのかというのは、保育を所管している担当部局がしっかりとやっていくことになりますので、時期が来ましたら、説明させていただきたいと考えています。

宮津市公共施設再編方針書（案）個別説明会での質疑応答一覧

説明対象	開催日	質 問	回 答
世屋地区住民	7/27	今後、個別施設の具体の再編にあたっては、担当部局から説明があるということですが、再編方針としては、9月議会に提案され、たとえば、日置保育所であれば、フェーズ2でそのまま定まってしまうのか。	あくまでも全体の方針として進めさせていただくもので、個別施設の対応については、担当部局からまた説明させていただくことになります。再編方針は、市長が決定するもので、9月議会へは報告をさせていただくことになります。
		再編方針書は、9月に決定されるとのことだが、個別施設の目標フェーズがそのまま決まるのではないか。保育所など、フェーズに挙がること自体、デメリットになると心配している。	あくまでも全体的な施設の再編方針を定めるもので、9月に市長が決定し、議会に報告することになります。また、個別施設の再編については、担当部局が地域住民と協議をしながら進めることになります。
		再編方針が9月に決定されることで、あまり時間がない中、今後、日置診療所がどうなるのか、知りたい。	診療所については、医師の意向を確認したり、地域の状況を踏まえて検討しなければならないと考えています。例えば、府中診療所に集約するにしても、代替用の送迎システムの確保や、府中診療所駐車場の拡張整備など、検討課題があり、今後、地域住民を交えて、協議する必要があります。
		日置診療所が廃止され、府中診療所に統合されたら、地域医療はどうなるのか分からない中、一方的に廃止されることは理解できない。	へき地医療は重要ですが、一方で医師の経営面を考慮しなければならない。今後、北部地域の医療のあり方を十分に検討しなければならないと考えています。
		例えば、地区内にある有害鳥獣処理施設ですが、これは以前のシイタケ加工作業所を改修したもので、この加工作業所の建設にあたっては、地元が深く関わったと聞いています。今後、市が保有する施設を譲渡する場合は、それぞれの建物の建設経緯も踏まえ、優先的に地元譲渡を検討してほしい。	譲渡にあたっては、地元自治会等を優先したいと考えています。地元から要望がありましたら、ご相談に応じていくような形になります。
		無償譲渡と有償譲渡の条件の違いはどのようなものですか。	一般的に、地元自治会等に譲渡する場合は無償、民間等に売っていけそうな物件は民間等に有償、要は市の収益になる場合は有償としていますが、地元で使っていただけたような物件は、基本的に無償でお渡ししたいと考えています。

宮津市公共施設再編方針書（案）個別説明会での質疑応答一覧

説明対象	開催日	質 問	回 答
世屋地区住民	7/27	地元の定義は何ですか。地元の個人事業主は地元なのか、あるいは民間扱いなのか。	譲渡物件により利益を得ようとするものでありましたら、地元の個人事業主の場合でありましても、民間扱いになると考えます。例えば、地域の遊び場など、地域活性化の目的で利用することでありましたら、無償扱いになると考えます。
		地元というのは、自治会だけですか。	自治会に限ったわけではなく、地域内のそれぞれの団体の活動目的などにもよると考えます。地域活性化の目的のために利用されるのであれば、地元扱いになると考えます。
		5 年程前に旧上世屋集会所を無償で譲り受けたいと希望したが、有償だった。	当時、地元の協議会が旧上世屋集会所を民泊として利用したいとのことで、有償で譲渡しました。今後、施設再編を進めていく過程で、このような事例は増えてくるので、今後、全体的に施設の譲渡方針を検討する必要があると考えています。
		世屋体験教室実習棟は、現在、貸付中であるが、譲渡されるのか。普段はあまり使われていないので、地域で使いたいと思い、担当部局に相談に行ったことがある。	現在、貸付中のものは、基本的にその相手方に譲渡する方針としています。また、以前に貸付の件で相談されたとのことで、改めて担当部局の方から説明するようにします。
		世屋体験教室実習棟は、地元が見ている中、貸付中にも関わらず、ほとんど利用実態がない。地域活性化で地元で利用したいと考え、以前に地元の観光グループが貸してほしいと市に要望したことがあるが、話が進まなかった。地域内にある施設なのに、地元で利用できないのはどうなのか。	担当部局に伝えまして、後日、詳しい経緯なりの説明をさせていただきます。
		しおぎり荘は、世屋高原活用協議会が活用しており、団体の受け入れも可能で、役に立っていると思う。また、以前は木子、上世屋、下世屋に小学校があったが、人口減少で順に廃止になり、日置小学校に集約されてしまった。木子から日置までは 10 キロ程あり、地域住民の負担になっている。若い方が住み始めている地域なので、いっせいに施設を集約していくのは不安である。	ご意見を頂戴し、今後、担当部局と地域住民で協議をさせていただきます。

宮津市公共施設再編方針書（案）個別説明会での質疑応答一覧

説明対象	開催日	質 問	回 答
世屋地区住民	7/27	公民館で利用している旧学校施設内に物品等が残っており、地域で活用できないかと考えている。物によっては有償でも取得することも検討したいので、市で一定の整理をしてほしい。	市で一定の整理しなければならないと考えます。担当部局を交えて、協議することになります。
		しおぎり荘のあり方は、今後、京都府も交えて協議しなければならないと考えますが、その中で地域住民の意向を聞いていただく機会を設けてもらうことはできますか。	地域住民と協議する機会を設けたいと考えます。地域の想いを聞かせていただいて京都府とも調整したり、また、関心を示していただける民間企業がありましたら、そこにも伝え、地域の活性化を大きな目標としてしっかりと取り組んでいきたいと考えています。
		学校、公園、公営住宅は、別途再編方針を定めるということですが、学校であれば、どのような視点で再編方針を示そうとされるのか。	学校再編に関しましては、別途、教育委員会が行うことになっていますので、現段階では、お示しできるものではありません。
		財政が厳しいから、公共施設を再編すると思いますが、施設再編によって、各地域が痛みを伴うにも関わらず、財政が悪化した原因や再発防止策のようなものが説明されていない。	財政難は、税収が減る中、行政サービスを出来るだけ維持してきたことが原因と考えています。今後、税のあり方検討会により、学識経験者等の意見も踏まえ、検討しなければならないと考えています。また、公共施設の再編は、多くの施設が老朽化してきた中、人口減少もあり、過大な施設保有量になっていることから、今後、財政を圧迫することになるため、必要になるものであり、財政難であるから、施設の再編を行うものではないと考えています。
上宮津地区住民	8/3	施設再編方針では、建物の除却等による施設再編の効果は、宮津市が試算したのか。また、島崎エリアについて、民間へのサウンディング調査を予定されているが、これは市の施設を民間に貸し出して、収益を得るということなのか。	公共施設の再編による効果は、概算試算になりますが、宮津市が算定しました。また、サウンディング調査については、民間の意見を取り入れ、今後の利活用を計ることが目的で、現段階では、貸付・売却等の方針決定にはなりません。たとえば、貸付を行う場合、当然、賃貸料として、市の収入になります。

宮津市公共施設再編方針書（案）個別説明会での質疑応答一覧

説明対象	開催日	質 問	回 答
上宮津地区住民	8/3	説明の中で行政が行うサービスとありますが、主なサービスを示してほしい。	主なものに、福祉、教育、ゴミ収集・焼却などが挙げられます。
		上宮津地区に関わる各施設の再編方針を提示してください。	上宮津地区公民館は譲渡・除却、上宮津保育所は譲渡・除却、喜多駅前広場公衆便所は譲渡・除却、旧上宮津小学校は用途転用・貸付、鳥が尾第1児童遊園及び天神児童遊園は除却・譲渡にしており、いずれもフェーズ1にしています。次に、旧大江山スキー場（レストハウスほか）は譲渡・貸付、大江山バンガロー村と大江山ロッジは休止・貸付・譲渡・除却、旧大江山スキー場（運転室ほか）は譲渡・除却にしており、いずれもフェーズ3にしています。
		子供や若者の将来負担の関連で、もう少し説明を求めたい。	子供達あるいは若者への将来負担を残さないということが、この再編方針の目的でもあります。財政的に厳しいところ、現在の水準で行政サービスを維持するとなれば、税収が減っている中、皆さんから収めていただいている税金、国からいただく地方交付税を合わせても、現在、宮津市が行っている行政サービスを全てそれらで賄うことができず、起債を行って、財政運営をしている状態であります。また、現在、基金残高も減っており、大きな災害等が発生した場合、赤字になって宮津市自体が財政再建団体になる可能性があり、そうなれば、必然的に行政サービスの低下をまねくこととなりますので、そういったことがないように、財政をしっかりと健全化することが重要だと考え、健全化のためには、公共施設の再編は、しっかりと取り組まなければならない課題であります。
		上宮津保育所は、入所児童数減少により、譲渡・除却（フェーズ1）になっているが、上宮津地区では若い人の数が増えており、将来的に保育所への入所者が減少するのか。	宮津市全体では子供の数は減っており、推計でも減少傾向は続き、市全体で保育所サービスの維持について考えなければなりません。

宮津市公共施設再編方針書（案）個別説明会での質疑応答一覧

説明対象	開催日	質 問	回 答
上宮津地区住民	8/3	喜多駅前広場公衆便所は、駅利用者の使用が限定的であることから、譲渡・除却（フェーズ1）になっているが、駅利用者だけでなく、今福の滝の見学者などの集合場所として喜多駅前が利用され、バスが止まる機会もあることから、利用者は多岐にわたる。	滝見学者などが利用されている事情は承知しています。現状では、公衆便所が下水道本館から距離があり、水洗化工事を行うには多額な費用がかかるため、除却を検討しています。今後、地元でも何かやっていただけないか協議し、地元への譲渡も視野に入りたいと考えています。
		大江山スキー場関連では、地域住民は様々な想いがあり、これは、直接、市長と話したいと考えている。また、以前にスキー場の対処について、申し入れをした中、今回、フェーズ3による再編方針案が出され、整合性がないと考えている。	大江山スキー場関連では、これまでに市と地元との間で様々なやりとりがあったようですが、今回は詳細を把握していないので、今後、個別に担当部局において、対応することとしたい。
		市が実施する説明会などは、削減などの説明ばかりで、今回も公共施設の削減が目立つが、施設を増やしていく要素はあるのか。また、削減効果は示されたが、収入面での増加要素も提示してほしい。	歳出面で、行政改革を行っており、職員数も減らしている中、それでも基金を取り崩し、起債残高も増えている状況です。ただ、基金残高を増やし、起債残高も減らしていきたいと考えています。歳入面では、難しいですが、引き続き企業誘致もやっていき、今年、マリオットホテルが完成し、市としては安定的に固定資産税が入ってくるものと考えています。
		マリオットホテルが建つことにより、それに関わる収入見込は、どう考えていますか。	マリオットホテルは、ご承知のとおり、ホテル内に食事施設がないため、周辺地域でサービスの提供をしていくことになり、空家改修による飲食の提供が期待される中、空家改修補助も充実させたいと考えています。また、マリオットホテルは宿泊定員約200人で、50%が稼働しているとすれば、常に100人程度の方が常駐されていることになり、経済効果が期待されます。今後、地域で協議会等も立ち上げていただき、取り組み方を協議していきたいと考えています。

宮津市公共施設再編方針書（案）個別説明会での質疑応答一覧

説明対象	開催日	質 問	回 答
上宮津地区住民	8/3	財政面や人口減少などを踏まえると、公共施設を再編し、行政サービスをスリム化するのはやむを得ないと考えますが、市で維持できない施設を自治会が保有できるのか、今後、議論が必要になると考えます。地域でもボランティア等に関われることもあるかもしれないが、費用面で自治会に負担になることが懸念される。	今後、国の制度なども考えながら、地域住民としっかりと協議していくことにします。
		人口が減少していく中、市役所の組織編成、議員定数、自治会のあり方などについて、どう考えていますか。	現時点では、明確な答えには至らないですが、今後、宮津市総合計画を策定していく中、しっかりと検討したいと考えています。また、高齢化も進み、地域のあり方についても議論し、一定の計画を策定していきたいと考えています。
		再編方針が目標どおりに進まなかった場合、例えば、譲渡先が見つからないときなど、そうした施設は5年、10年間、放置されるとどうなるのか。	建物には耐用年数があり、時期がくれば、建替をすることになるが、全ての施設を建て替えることは財政的に不可能な状況で、本来なら市で除却すべきところ、歳出を抑えるため、出来るだけ現状有姿での譲渡としています。譲渡できなかった施設は、必要に応じて、除却していくことを検討したいと考えています。
		人口減少は、以前から始まっているところ、市内にはあまり働く場がない。市職員の中にも、市外に転出している者がいて、駄目ではないか。また、企業誘致もあまり成果があがっていない中、個人的にはあまり賛成できないか、原発関係の企業誘致を検討するなど視野に入れた方が良いのではないか。	市職員の市外転出については、各個人の判断にはなるが、市としても、しっかりとご意見を受け止めます。また、引き続き、企業誘致にも力を注いでいくことにしており、宮津エネ研の跡地利用については、再開発やバイオマス発電等も視野に入れ検討していき、財政健全化に向けた歳入部分での改革というものをしっかりと取り組んでいきたいと考えています。

宮津市公共施設再編方針書（案）個別説明会での質疑応答一覧

説明対象	開催日	質 問	回 答
上宮津地区住民	8/3	人口一人当たりに対する公共施設の床面積が多いとのことですが、市として、福祉や教育に力を入れていくのに、保育所の統廃合が進むのか。上宮津では新しい住民が増え、子供も少しずつ増えているのに、再編方針は現状と整合していない。先日、上宮津保育所に関する説明会があり、その場では、保育所を廃止したいと思う地域住民はいませんでした。今回の説明会が、再編方針を策定するためだけのものであってはならないし、地域住民の意見を十分に反映させるものであってほしい。	保育所については、民間保育所の持続性や市全体の子供の数を念頭に検討し、今後、個別に担当部局が地域住民と協議していくことになります。
		スキー場やバンガローは、これまでに修繕できた時期があり、施設の評判も良かったにも関わらず、利用休止したのは市の責任であると思います。国定公園にも指定され、これまで地元としても要望をしてきたが、それが反映していない。京都府とも協調して、府からの補助も得て、今後も施設を存続させてほしい。	このような施設は地元が管理されているケースもあり、今後、京都府とも意見交換をしていき、京都府にも要望をしたいと考えています。
		上宮津保育所に関して、市長に要望書を提出したので、市長と意見交換をしたい。また、大江山周辺地域は、平成19年に国定公園に指定され、その後、地元としても要望書を提出してきたが、要望内容が要件に合わないという理由から、何も反映されることがなかった。そのあたりの経緯もしっかりと認識してほしい。	要望につきましては、しっかりと確認させていただきます。 (府へも要望を行ったところ)
		公共施設再編による費用効果の根拠は何ですか。この費用効果には、施設を譲渡した場合の収入も見込まれていますか。	施設の更新費用につきましては、国が示している建物の構造毎の基準単価により算定しています。また、費用に関しては、改修等の維持経費のみで、譲渡などにより収入は加味されていません。

宮津市公共施設再編方針書（案）個別説明会での質疑応答一覧

説明対象	開催日	質 問	回 答
上宮津地区住民	8/3	上宮津地区公民館は、旧上宮津小学校校舎へ機能移転する方向が協議が進められていくこととなりますが、避難所として利用する場合、人が密集状態になってしまいます。そうした状況を少しでも避けるため、現在の地区公民館を予備的な避難所施設にならないか検討していただきたい。	個別施設のあり方につきましては、今後、公民館の活用方針と合わせ、地元と協議していきたいと考えています。
		上宮津に関する公共施設の再編方針案が成案になれば困る。また、再編方針を策定する背景と施設を最適化する意味を示してほしい。	市民説明会、今回の個別説明会、パブリックコメントを踏まえ、今後、有識者や市民委員による検討会議を経て、最終的に市長が決定することになります。再編方針の決定は、施設全体の方針決定であり、個別施設については、今後、担当部局が地域住民と協議していくこととなります。施設再編方針を策定していく背景は、人口減少、過大な施設保有量、施設の老朽化、厳しい財政状況です。また、施設の最適化は、建物の老朽化や利用状況を把握し、再編方針に沿い、施設の適正な管理を図るものです。
		再編方針は、主に施設のハード面に対処する内容、別途策定予定の宮津市総合計画は、主にソフト面、全体的に対処する内容になっていると考えられるので、市として、しっかりと連携して進められたい。	ご意見をしっかりと受け止め、進めたいと考えます。
		人口一人当たりの公共施設保有量が多いが、これは当然の結果であり、都市部と比較することに無理があるのではないかと。こうした地域性を踏まえ、単に施設保有量を削減するのではなく、国や京都府からの補助金を活用するなど、予算措置に取り組んでほしい。	公共施設を適正に配置し、施設更新費用を平準化していくことは、宮津市だけに限らず、全国的な課題になっています。市としても、施設を無くしていきたくいわけではなく、行政サービスを維持する上でも、施設再編は進めなければならないので、地域住民にも協力していただきたいと考えます。
		今回の公共施設再編にしても、全国的にみて、周辺地域に負担がかかっている。人口減少の背景など、市として、しっかりと経緯を検証し、今後の行政に活かしてほしい。	今回の施設再編は、特に周辺地域にだけ負担を強いているわけではなく、市街地でもあっても再編方針の対象施設にしており、市内全域にわたっています。

宮津市公共施設再編方針書（案）個別説明会での質疑応答一覧

説明対象	開催日	質 問	回 答
上宮津地区住民	8/3	平成19年に大江山周辺が国定公園に指定される際、地元説明会でも利活用に関して議論された。風力発電施設の設置など、地元としてもこれまでに幾つか要望書を提出してきた経緯がありますが、その度、要望内容が整備要件に該当しないという理由で、先に進まない状況になっています。	今後も地域住民と意見交換を重ね、京都府とも協議をしたいと考えています。
新日本婦人の会 宮津支部	8/4	火葬場は除却対象施設になっているが、代わりの施設建設の予定はあるのですか。また、以前に火葬場のあり方検討会があったが、そこではどのような提言がされましたか。	今年3月に受けた提言では、改修から60年以上経過しているため、早急に移転する必要があるとなっています。過去に2回、火葬場移転の計画がありましたが、実現に至っておりません。移転に関しては、近隣自治会からも要望を受けており、早期に移転に向けて対応しなければならないと考えています。また、近隣市町と連携し、広域的な火葬場利用の協議を進めなければならないと考えています。
		火葬場を除却する理由は、近隣自治会からの要望に基づくものですか。	改修から60年以上経過して、施設が老朽化していること、合わせて設備も古くなっていることから、移転して新たに建設しなければならないと考えています。また、平成16年3月に地元自治会と現在の火葬場の早期移転に向けた覚書を締結しており、火葬場の移転整備は、極めて近々の重要な課題となっています。移転整備につきましては、移転先も含め、宮津市が単独で行うのではなく、近隣市町と連携して協議しなければならないと考えています。
		以前、火葬場の移転先として須津地区が挙がりましたが、移転先として決まらなかった経緯があり、次に移転先を検討する中で、須津地区も候補に挙がるのか。	次の具体的な移転先は、まだ未定です。移転先や整備を含めて、宮津市が単独で行うのではなく、近隣市町と連携して協議しなければならないと考えています。

宮津市公共施設再編方針書（案）個別説明会での質疑応答一覧

説明対象	開催日	質 問	回 答
新日本婦人の会 宮津支部	8/4	今後、近隣市町と連携して火葬場の移転整備を行うことになり ますが、宮津市単独で火葬場を整備するといった検討はできない ものか。	施設再編の観点から申し上げますと、宮津市が単独で火葬場を整 備するということはないです。理由としましては、財政面もあり ますが、人口規模で考えますと、近隣市町と共に利用することで 行政の効率化が図れるためです。
		公共施設全般について、市単独ではなく、広域的に利用するの も良いが、車で利用する際、温暖化対策の意味でも、やはり利用 する施設は出来るだけ近場に確保されるのが良いではないか。	全ての施設を広域化にするのが良いとは考えていませんが、利 用者にご不便をかけないように施設容量なども確保した上で、火 葬場などの施設は、広域化しなければならないと考えています。 ゴミ焼却施設もそうでしたが、宮津市を含めた近隣市町の人口規 模などを考えると、火葬場も市単独で保有するのではなく、広域 的に保有するのが望ましいと考えています。
		火葬場のあり方検討会では、委員は何名で構成されていました か。	検討委員は全員で8名で、その中に学識経験者として大学の先 生が1名入っています。
		地域の保育所に0才児保育がないため、仕方なく他の保育所に 行かなければならない事例がある。もっと市民が利用しやすくな るような施設管理をしてもらいたい。また、日置と養老保育所は 譲渡・用途転用になっており、市の若者定住施策に反する。	地域の施設をなくしていくのが目的ではなく、市全体で子供の 数が減っている中、保育サービスを維持する方針を探る必要があ り、施設再編は必要であると考えています。

宮津市公共施設再編方針書（案）個別説明会での質疑応答一覧

説明対象	開催日	質 問	回 答
新日本婦人の会 宮津支部	8/4	宮津会館は耐震性などに問題があるが、昭和５６年に耐震基準が変わった時、何故、その時点で修繕をしなかったのか。	大規模な修繕をしなかったことで、結果的に、老朽化を遅らせることが出来ませんでした。ただ、宮津市だけでなく、全国的に新たな施設建設を進めていた時期であり、施設改修にあまり着目していませんでしたが、こうした中、以前に建てた公共施設が全国的に更新時期を迎えたことから、国も平成26年に公共施設総合管理計画の策定を全国の市町村に要請し、宮津市においては、平成28年３月に宮津市公共施設総合管理計画を策定しました。これまでは建物新築以外では国の補助がなかったですが、今回、国の指針に基づく公共施設再編方針を策定し、国の補助制度等も見据えながら、今後、継続していく施設に関しては、しっかりメンテナンスを行っていきたいと考えています。宮津会館は、音楽関係等の方々にとっては、大切な施設であると認識していますが、市民全体として、どれだけ利用されるのかを含めまして、この財政状況の中、市が音楽ホールを建替えるということは非常に困難であると考えます。文化行政としては、出来るだけホールを保有したいところですが、民間資金を導入し、歴史の館周辺にホテルや音楽ホールが建設できないかと、今後、サウンディング調査を行う予定にしています。
		再編方針の策定業務を民間業者に委託されていますが、なぜ市が行わないのか。	委託先の業者は、他市でも多くの業務を受注し、知識と経験に優れています。業務はすべてに渡って委託しているものではなく、個別施設の点検や庁内における検討会議など、これらは市職員が行っており、業者の方はそれらを集約・分析し、業務全般に支援をいただいています。

宮津市公共施設再編方針書（案）個別説明会での質疑応答一覧

説明対象	開催日	質 問	回 答
新日本婦人の会 宮津支部	8/4	日置地区個別説明会で話が出ましたが、日置地区に関わる課題に対して回答がなかった。日置診療所は10年前に無くす話があり、住民の有志活動があって、医師の熱意もあり、現在も継続しているが、市として、この先、橋北地区の医療をどのように考えているのか。	先日、日置地区での個別説明会ですが、市内3箇所で実施した公共施設再編方針書（案）に関する説明で、施設全般の再編方針を定めるものであることをご理解いただきたい。また、個別施設の具体的な再編につきましては、それぞれの担当部局が地域住民と協議をすることにしています。
		再編方針書は9月に市長決定されるのか。あまり時間がない中、今後も話し合いをする機会を設けてもらうことは出来るのか。また、今後、開催される検討会議は、公開されるのか。	今後、検討会議を開催して、9月に市長が決定する予定になっています。検討会議の公開については、現在のところ未定です。
		宮津の観光地は天橋立だけでなく、由良や世屋などもある。由良の鉄橋を望める「もみじ公園のトイレ」、水道整備をすれば十分に利用できる「しおぎり荘」が譲渡・除却になっている。市として、こうしたロケーションの良い場所・施設をしっかりと認識してほしい。	宮津市には、天橋立だけでなく、他にも観光資源があって、まだまだ活かしきれていない所があると考えていますが、ただ、市が保有しなければならない施設があるのかは検討しなければならず、すべてを市が保有することは困難であると考えています。
		宮津会館は文化の象徴であり、将来を担う子供達の文化性を高めることに寄与している。これが無くなることで、市民は、わざわざ舞鶴など他市の施設を利用しなければならないのか。また、財政面の観点から、施設を除却するにも補助が得られるように国に働きかけてもらいたい。	公共施設マネジメントを実施すれば、施設の除却に対して、起債を行うことが可能となります。
		これまで宮津市に住み、真面目に働いてきたのに、今回の旨説再編は主に施設が減り、市民に対してペナルティーを科しているように思える。こうした市民の声を市長に伝えてほしいし、またこうした事態を招いたことに対して、市長から謝罪もしてほしい。	ご意見は、しっかりと受け止めさせていただきます。

宮津市公共施設再編方針書（案）個別説明会での質疑応答一覧

説明対象	開催日	質 問	回 答
宮津会館の存続 と歴史資料館の 再開を求める会	8/4	公共施設再編方針書策定にあたり、市民の意見集約を考えれば、9月に市長決定するのは早急すぎるのではないか。短期間で策定しなければいけないような国の方針があるのか。また、他市ではどのような状況なのか。	再編方針書は、平成28年3月に策定した「宮津市公共施設等総合管理計画」に基づき、再編方針を定めていくもので、昨年に各施設において、担当部局からヒアリングを行い、精査を行った上、素案を作成し、今年4月に広報で市民の皆さんにお伝えしました。また、市内3箇所でも市民説明会を開催し、今回のように要請があれば、個別説明会も開催している状況です。なお、他市の状況では、コンサルタントの業務支援を受け、概ね1年程で策定しているケースが多いです。
		私達は、歴史や文化は非常に大切なものと捉えているが、例えば、公共施設において、文化的な利用では収益に繋がらないと思われているのか。市の考え方を知りたい。また、再編にあたり、市民の意見集約によって、若干でも再編方針に変更の余地はあるのか。	宮津市において、歴史、文化を継承し、大切にしていくことは必要だと考えています。また、幾度か説明していますように、9月に策定を予定している再編方針書は、施設全体の方針を決めるものであって、その後の個別施設の具体的な再編については、担当部局と地域住民との間で協議をすることになります。また、個別の施設によっては、条例が定められているものがあり、仮に廃止する場合、廃止条例を議会に提案する必要があり、そこで議論していただく余地があります。 ただ、今回の施設全体の再編方針ですが、一定の方針を定めています。その背景としましては、昭和50年代以降、全国的に公共施設を建設してきた中、宮津市においては急激な人口減少に陥り、過疎地域にもなりました。この状況で、現在の行政サービス水準を維持していくためには、公共施設の再編は必要となります。また、ゴミ焼却場建設による費用負担、今後、老朽化している、し尿処理場、火葬場など大型施設の更新が必要になることをご承知いただきたい。

宮津市公共施設再編方針書（案）個別説明会での質疑応答一覧

説明対象	開催日	質 問	回 答
宮津会館の存続 と歴史資料館の 再開を求める会	8/4	再編の進め方としては、各施設の条例の廃止も含め、9月に決定される予定なのか。	再編方針書は、全体的な施設の再編方針を定めるもので、これは9月に市長が決定するスケジュールで進めています。個別施設の具体的な再編については、各担当部局が地域住民と協議をしてからとなり、仮に廃止する場合は、条例廃止の手続きを経る必要があります。
		若者を優先とした施策で人口減少に歯止めがかかるが、なぜ市はこれをやってこなかったのか。	地方創生でも対策を行ってきましたが、まだまだ現状は人口減少に歯止めをかけられてはならず、引き続き、定住施策には取り組まなければならないと考えています。また、宮津市総合計画でも、若者定住をしっかりとした施策の柱とし、地域住民と意見交換を行っていきたいと考えています。
		児童遊園の再編にあたっては、子供が歩いていけることを考えたのか。	全ての児童遊園を残すことは困難で、利用度などにより集約していきます。また、集約して残す施設については、子供達が利用しやすいよう、施設の維持管理に努めていきたいと考えています。
		サウンディング調査は、市が幾つかの民間業者を集めるのか。また、具体的にどのように進めていくのか。	サウンディングに関しては、民間企業が集まる場で、市の想いなどをPRしていくことになります。具体的な進め方につきましては、今後、詳細を検討していくことになります。
		財政健全、市内部の事務取り組みなどがありますが、残業代を減らす取り組みはされていますか。市職員の年齢別構成が逆ピラミッド型に偏り過ぎないように、若い人の採用を増やしてはどうか。	毎週水曜日は、これまでからノー残業デーにしているところ、昨今のコロナ対応事務で、一部の部署で残業をしているところがあります。残業代の削減については、昨年度の半分以下にすべく取り組んでおり、引き続き、管理職手当は50%、特別職給与は20%の削減をしています。また、職員全体の数は減らしてきており、若手職員のスキルアップも必要なことから、今年度は、京都府に1名、舞鶴市に1名の職員を派遣しています。

宮津市公共施設再編方針書（案）個別説明会での質疑応答一覧

説明対象	開催日	質 問	回 答
宮津会館の存続 と歴史資料館の 再開を求める会	8/4	宮津会館の改修には10億円以上かかるから休止予定だが、存続の声があがれば、施設を残す選択肢はあるのか。	約10億円をかけて改修できれば良いが、財政上、市が単独で施設を改修して保有していくことは困難で、そのような中、民間資金を活用できないかと、今後、サウンディング調査を行うものがあります。宮津会館は、建設から50年以上経過し、一般的にコンクリート建造物の耐用年数が60年とされている中、残り10年間のために、10億円を投入することは困難であると考えています。市としては、今後更新時期を迎える、市民生活に密着した公共施設の更新・維持に費用をかけなければならないことをご理解いただきたい。
		再編方針書（案）の中には、「過大」という表現が見受けられるが、改修費用の数字的根拠はあるのか。また、除却と判断する前に、しっかりと長寿命化を検討したのか。耐震性の数値から比較すれば、宮津会館は市役所庁舎より高い数値である。	コンクリート建造物の耐用年数が60年ということを踏まえ、アルカリ性であるコンクリート自体が雨などで酸化し中性化され、内部の鉄筋が一部むき出しになり、コンクリートの一部が剥離しています。I s 値（構造耐震指標）が0.22の施設において、地震の際、コンクリートが一部崩落した事例があります。大切な施設ではありますが、改修に10億円以上かかること、改修しても長期間の使用は困難であることから、改修は困難と考えています。
		宮津会館は、大きなイベントが出来る施設であり、先ずは、多くの人が利用しやすいように、トイレを改修してほしい。トイレがきれいを使いやすいと、それだけで文化が高いと見ていただける。そうして宮津会館をもっと収益が上がる公共施設にしてもらいたい。	ご意見は、しっかりと受け止めます。
		宮津会館の存続を望むことも多いので、じっくりと市民の意見を聞きながら、慌てて来年3月に休止しなくても良いのではないのか。	今後、ご意見を頂戴する中で、しっかりと検討し、判断したいと考えます。

宮津市公共施設再編方針書（案）個別説明会での質疑応答一覧

説明対象	開催日	質 問	回 答
宮津会館の存続と歴史資料館の再開を求める会	8/4	再編方針書は9月に決定され、9月議会で各施設の廃止条例が提案されるのか。	9月に市長が決定し、議会に報告する予定にしています。個々の施設については、今後、担当部局が地域住民と協議をしていく、仮に除却となれば、その時点で廃止条例を提案していくことになります。
		宮津会館のホール利用日数は年間60日程度ですが、他市施設との比較数値を知りたい。	手元に資料がないため、別途、調べます。
		改修や建替に係る費用の試算方法を教えてください。	公共施設の更新等費用の算定につきましては、「地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会報告書（財団法人自治総合センター）」に基づき、大規模改修の場合は、㎡当たり25万円、更新（建替）の場合は、㎡当たり40万円を使っています。また、この試算は、あくまでも建物本体のみで、音響設備などの更新費用は含まれていません。
		コンクリート構造物は、耐用年数としては60年だが、実際は、それ以上、使えるのではないか。	耐震診断を実施した際、コンクリートのコア調査を行い、その結果、一部コンクリート内部の中性化があることが分かっており、60年が限界と考えます。
		2年程前、歴史資料館の再開に向けて動きがあったが、予算執行されなかった。歴史の館は耐震性に問題なく、貴重な歴史的資料があるにも関わらず、どうして再開しないのか。	歴史資料館は、平成19年から休止しており、ソーデーマーチなどのイベント等がある時だけ、公開しています。平成30年に再開に向けた予算を検討したところ、災害復旧対応により、予算が執行できませんでした。今後、改めて検討する必要がありますが、常時、公開となりますと、人員配置が伴い、財政的に厳しい状況であることをご理解いただきたい。

宮津市公共施設再編方針書（案）個別説明会での質疑応答一覧

説明対象	開催日	質 問	回 答
宮津会館の存続と歴史資料館の再開を求める会	8/4	宮津会館は文化の象徴であり、これが閉館となれば、ダメージはかなり大きく、さらに人口減少が加速していくと考えます。更新費用が10億円かかるとの試算であるが、詳細設計をすれば、5億円程度で改修できるかもしれず、残った5億円を他の施設の更新費用にかけられるのではないかと。詳細設計を委託するなどして、もっと具体的な更新費用を示してほしい。	現在、市の貯金である基金は、1億円を切り、今後、5年間で約40億円の収支不足があることを御理解いただきたい。
		宮津の文化歴史を後世に継承していかなければならないのに、歴史資料館は、これまでから休止され、今後も引き続き休止されてしまうのか。資料館に常駐してくれそうなボランティアなどを検討されたことはあるのか。	ボランティア等の確認はしていませんが、そうした体制が可能であれば、検討したいと考えます。
由良地区の公衆トイレを守る会	8/6	再編方針の背景は理解しましたが、もみじ公園周辺において、平成28年から3ヵ年にわたり、計192本のオリーブを植樹し、見学者などの集約がある状況、阪急交通による体験ツアーの企画、由良川の鉄橋のロケーションなど、周辺地域は観光面において将来性があるので、検討会議では、是非、方針について前向きな議論をしてもらいたい。	当地区の観光面における将来性には期待しているところ、公園全般はあまり利用されておらず、今後、公園全体のあり方を地域住民としっかりと議論しなければならないと考えています。また、レストランや宿泊施設の運営が可能な立地条件であるのか、民間企業に参加してもらえるものがあるいは地域の方々に何かやっていただけるのか検討したいと考えています。舞鶴方面からのアクセスも良く、景観も良いので、今後、地域住民としっかりと議論することにします。
		広い公園で維持管理は大変だと思いますが、由良は舞鶴方面の出入り口であり、みかん、オリーブなどの観光面で優れている地域である。由良地区を魅力の地域にして、人口減少に少しでも歯止めをかけたい。トイレを残すのは難しいとは思いますが、地域と連携することも検討されたい。 地域としては、国道沿いに小さくても道の駅ような施設が整備されたら良いと考え、公園利用と一体的に、観光客を迎えられるようにしたい。	観光面で、由良地区にも広く展開すべく、直売所などを設置したり、民間企業を誘致するなど、地域活性に繋がることを住民と協議したいと考えています。宮津市総合計画においても、各地区ごとの将来計画を見据え、地域活性化に繋がるよう、しっかりと意見交換をしたいと考えています。

宮津市公共施設再編方針書（案）個別説明会での質疑応答一覧

説明対象	開催日	質 問	回 答
由良地区の公衆トイレを守る会	8/6	3年前にトイレが閉鎖される際の説明は、もみじ公園の年間経費を支出するのが難しいというものだった。閉鎖後、国道沿いに車を止め、由良川周辺を写真撮影している方々を見かける。景観に優れた地区だと自負している。地域住民で出来ることはやりたいが、全体的に高齢化が進み限界がある。市の方でも、こうした実情を踏まえ、一定の方針を出してほしい。	財政状況が原因で、トイレを閉鎖した経緯は認識しています。個々の歳出は小さくても、それらを積み上げなければならなかった現状をご理解していただきたい。今後、公園全般の活用方針については、担当部局と地域住民との間で協議し、たとえば、オリーブの販売所などの併設等、民間企業の資金も期待しつつ、収益が見込める事業展開を協議したいと考えています。
		水洗化に多額の費用がかかるトイレは除却になるが、由良地区は集落排水計画があったが、それがなくなり、各個人で浄化槽を設置しなければならなくなった。地域では観光に力を入れてきたが、市として、由良の観光をどのような捉えているのか。みかん、オリーブなどに関する産業がある中、幼稚園も小学校も無くされ、また、トイレまで除却されると、由良のイメージダウンになってしまう。	由良地区のあり方を検討したいと考えています。今回の再編方針は、施設全般に関する方針を決定するものであり、個別施設の具体的な方針は、今後、担当部局と地域住民が協議することになります。市の財政状況が厳しいのは確かで、行政サービスの水準を維持するためにも、施設再編が必要であることをご理解いただきたい。
		もみじ公園のトイレは既に閉鎖されているので、利用頻度が少ないわけではない。除却されたら、地域が活性化されない。	公園全体の活用として、今後、地域住民と協議したいと考えています。
		以前に中央トイレの改修を要望し、市も計画準備をしていたことから、もみじ公園トイレの閉鎖に賛同した。これまでに市に要望書を出しているの、確認されたい。	要望書を確認させていただきます。また、別途、由良地区のあり方について、協議させていただきます。
		もみじ公園トイレが閉鎖される際、1ヶ月前に看板が設置され、その後すぐに閉鎖されたが、駐車場がそのまま利用でき、自動販売機もあり、ゴミだけが散乱している状況である。閉鎖するのなら、駐車場に入れないようバリケードなどを施すべきではないか。	もみじ公園全体のあり方を地域住民と協議したいと考えています。また、ゴミ、自動販売機については、対策を検討します。

宮津市公共施設再編方針書（案）個別説明会での質疑応答一覧

説明対象	開催日	質 問	回 答
由良地区の公衆トイレを守る会	8/6	由良小学校で使われていた石垣が、地元に詳しい説明もなく、撤去され、行き先が不明である。由良地区の先人が苦労して作り、価値あるもの。教育委員会が耐震の問題で危険と判断したのだろうが、由良地区の他の場所に移転するなど、他に選択肢はあった。	石垣は、当時、他市で起こったブロック塀による事故を受け、石垣そのものが固定した構造になっていないことから、撤去させていただいた。市営タケ丘団地の建替の際、塀として利用させていただき、経費削減に繋がりました。こうした経緯を地元住民に十分に周知できなかったことをお詫びいたします。
		港に児童公園があり、これが廃止されると、土地は湊自治会に返還されるのか。また、返還された際、固定資産税がかかるのか。	港児童公園の底地は自治会からお借りしているので、廃止となれば、返還したいと考えています。固定資産税につきましては、今後、協議させていただきます。
		由良小学校の石垣が住民に周知されずに、市営タケ丘団地の塀になったとの説明だが、石垣は先人が築いた文化遺産です。当時は、石を切り出して、運搬するのは、大変な人の労力がかかったことでしょう。行政がこのような地元に周知しないで勝手にするのはいけない。	石垣の件は、報告を受けております。事前に地域の方々にお知らせできずに活用したこと、この場を借りて、お詫びいたします。